



広報

かつやま

5月号

No.613

Katsuyama City Newsletter

平成18年5月11日発行

緑の風薫る

CONTENTS

市税条例の改正

新区長の紹介

HOT話題

出会いふれあい

平泉寺 菩提林



歴史の散歩道

(65)

平泉寺「桜塚」

白山神社参道入口である精進坂を上り、一の鳥居を過ぎると、左側「玄成院」手前に、高さ一メートル余の自然石の句碑が見られる。

『平泉寺史要』に「芭蕉碑あり、碑面 うらやまし浮世の北の山桜 芭蕉翁、側面に発主旭窓楼白道百花園中建物竹窓書とあり、然れ共白山社へ奉納の句にあらざるが如し」とあり、今も読み取れる。

発主の「旭窓楼・白道」は「百花園（鳥旭）」の別号である。雲和坊ともい、内藤周碩（敏）が本名である。つまりこの桜塚は鳥旭によって建てられたもので、書は建部竹窓である。建てられたのは文政四年（一八二二）のことで、一八五年を経て、碑の文字は読みづらいが、「うらやまし浮世の北の山桜 芭蕉翁」と判読できる。

この句は元禄五年刊の『北の山』に、これを発句として次のように掲載されている。

うらやまし浮世の北の山桜 翁（芭蕉）
雪消え残る細ね大根 句空
人足のあたまがそゆる春風に 去来

「句空」は金沢の人であり、芭蕉が「奥の細道」の途中訪れて知り合った間柄で、この句の意味は「あなたの居



桜塚

られる卯辰山のあたりも、今はさだめし山桜の盛りでしょう。あなたの閑居は浮世の北（世俗の外）ともいっべく誠にうらやましい」で、「柳陰軒」に隠棲したことを聞き、その境涯が羨ましいと書き送ったのである。なお、この句が白山への奉納句とされるのは、後に加賀蕉門の句とともに白山に奉納されたことなどがあって生じた所伝であると云う（『芭蕉全句』加藤楸郎）。

百花園鳥旭は、白山登頂の入口である平泉寺にこの芭蕉の句がふさわしいと考えてこの句碑を建てたのであろう。ちなみに、当時勝山では芭蕉の十哲の一人各務支考（岐阜県の人）の流れを汲む美濃派の俳諧が盛んで、盧元坊、帰童仙、巴文から敬止、鳥旭へと受け継がれていたのである。

勝山市文化財保護委員 増田公輔



編集後記

▶今春は、4月下旬に雪が降り、くもりや雨の日が多く、晴れても黄砂ですっきりしないなど、天候には恵まれませんでした。大雪や寒い日が多かったせいで、植物の開花や田植えなど例年の季節よりも1週間あまりずれているようです。▶区長さんや交通指導員、保健推進員、くらしのアドバイザーのかたなどの委嘱式が行われ、新たな顔ぶれによる事業の取り組みがスタートしました。▶京都にお住まいのかたから「勝山の美しい自然に感動しました。また来たいと思います。」とのメールをいただきました。勝山はすばらしい所です。自信と誇りを持ちましょう。

火災発生

☎88-5100(テープ吹き込み)

休日・祝日救急当番医

診療時間▶AM9:00~PM5:00

5/21 (日)	小 林 眼 科 ☎87-7888
5/28 (日)	武 藤 外 科 医 院 ☎88-0266
6/4 (日)	竹 下 中 央 内 科 医 院 ☎88-1121
6/11 (日)	武 藤 外 科 医 院 ☎88-0266

☎ 消防署 (☎88-0400)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成18年4月末	前年比
総件数	217件	31
人身事故 (うち高齢者)	42件 (6)	17 (2)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	-2 (-1)
傷者	54人	16
物損事故	175件	14

5月の納税

軽自動車税▶全期
納 期 限▶5月31日(水)
口 座 振 替▶5月26日(金)

人口の動き

	3月末現在	自然動態		社会動態		4月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,223人	8	-11	39	-31	13,228人	5人
女	14,541人	6	-12	28	-35	14,528人	-13人
合計	27,764人	14	-23	67	-66	27,756人	-8人
世帯数	8,129世帯					8,135世帯	6世帯

毎月第3日曜は

家庭の日 野や山に出かけ 美しい自然に親しもう

